

て克く忠實を盡しましたとさ。めでたし／＼

蛙遊び

これは、女子高等師範の附屬幼稚園の子供等がやつて居るのを見ましたのですが、次の歌を歌つてやるのです。

お池の蛙は



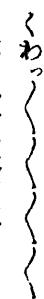
何といふてなく



雨ふれ／＼とて



ふるまで鳴くのよ



(共益商社幼稚園唱歌)

先づ七八人の子供が輪を造つて丸くなると

二三

人の子供が真中に這入る。週りの輪が池で、中の

子供が蛙なのです。そこで週りの子供が右

か左かへぐる／＼回轉りながら『お池の蛙は』と

歌ひ出すと中の子供は こぢんで跳びながら、
『くわ／＼』と歌ふ、又週りの子
供が『何といふて鳴く』と歌ふと、中で『くわ／＼』
と歌ふ、此通りにして上の句を週りで歌へば 下の句を中で歌つて廻つた
り跳ねたりするのです。

考へもの

○前號の解

10—9=1=日

くるま

○この次は

十七を三分して魚の名一つ
十一を二分して魚の名一つ

十

(●) 英語の考へもの

- (一) 一瞬間に二つ顯はれ、一秒には一つ顯はれ
 (二) 一時間には一つも顯はれない英語の文字は何?
- 二綴の英語で、次の綴は始の綴を日本語に譯して發音して居るのは、何?

(●) 一口話し

田舎者が馬を引張って、品川の方からやつて来て東京へ這入りかゝった所で、急に馬の顔に厚布を引つかぶせると、馬は目が見えないから、一步も進まない、夫を無理に連れ様として騒いで居ると、巡查さんがきて

巡「コラ〜何故馬の顔を隠して居る?」?

田舎「へい〜江戸ではハ一生馬の眼を抜くといふ

こつてがすから」

家庭

子どもの読み物

濱

子



私の友の一人は此頃こういふ事を語りました。

私は小さい時から物を読む事が好で、十才頃から新聞の拾ひ読みをはじめ、高等小學時代には新聞狂雜誌狂など、家内であだ名され、新聞雑誌は元より小説でも何でもかでも手當り次第に読みちらしました。兄が小説好で方々から、小説本を借りて來るものですから、私もよほど澤